

2013年2月

●三井物産環境基金交流会 in 福島で尾園副代表が霊山プロジェクト活動内容を紹介
(2013年02月25日)

当協会は三井物産環境基金より2012年度上期案件として、2012年10月より支援を戴いております。助成を受けた団体・一般の方の参加で、年に2回交流会を実施しておりますが、3回目の今年は福島復興支援をテーマとして、福島市で2日間開催されました。

第一日目は尾園副代表よりテーマカフェ2グループで「[霊山プロジェクト](#)」を紹介致しました。当協会からは篠田事務局長、大沼霊山PJ地元代表が参加しました。復興支援という共通なテーマで、参会者の関心も高く、同様な支援発表も多く、夕方の懇親会も含めて霊山PJ活動を広くPRすることが出来ました。是非現地を見たいという希望者も多数いらっしゃいました。



三井物産交流会全体会議



テーマカフェ2で話題提供する尾園副代表理事

第二日目は分科会で、尾園副代表、篠田事務局長は「自然エネルギーの利用の拡大のために私たちが出来ること」のテーマに参加し、当協会の活動、再生可能エネルギーの重要性をPRしました。



第二日目分科会全体風景



「足るを知る」を力説する篠田事務局長

両日の詳細は後日、三井物産HPに掲載される予定です。前回の郡山の交流会は
<http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/fund/koryukai/index.html> を参照ください。

●第5回メタン発酵寺子屋教室（2013年02月23日）

霊山プロジェクトでは現在検討を進めている「エネルギー創生霊山町」(仮称)のエネルギー源として小水力を考えております。今回は信州大学名誉教授池田敏彦先生をお呼びして、小水力発電の講義をして戴きました。それに先立ち3つの水源候補地を先生に視察頂き可能性、課題等をご指導戴きました。

その後現地実務者会議をおこない、メタン発酵プロジェクトと水田除染プロジェクトの東京会議の結果の地元への報告ならびに、現地コメントを戴き、具体的な今後の進め方を纏める事が出来ました。次回の現地でのプロジェクト会議は3月30日(土)を予定しております。



小水力水源1



小水力水源2



小水力水源3



信州大学池田敏彦先生の講演



寺子屋会議終了後の集合写真



実務者会議の様子

●霊山PJ東京会議（2013年02月22日）

REPA 本部事務所 16:00~18:30

水田除染1月の分析結果が出ましたので、最近の関連報道他も含めて、実務者でレビューならびに今後の進め方について打合せました。代かきによる汚染物質の集中化の効果が明確になってきました。メタン発酵は柿単独処理が順調に進みつつあります。枯れ草等も含めて今後の実験内容の検討がおこなわれました。



実務者会議の様子